

2023年5月23日
株式会社ゲンロン**大山顕 著『新写真論 スマホと顔』2023年日本写真協会賞学芸賞受賞！****あらたな定番としてロングセラー、4刷出来！**

株式会社ゲンロン（本社：東京都品川区西五反田 代表取締役：上田洋子）より、2020年3月に書籍『新写真論 スマホと顔』を刊行した大山顕氏が、同書の功績により2023年日本写真協会賞学芸賞を受賞しました。



日本写真協会賞は公益社団法人日本写真協会が主催し、1952年の設立以来、日本の写真界や写真文化に顕著な貢献をした個人や団体に対して贈られています。大山氏がこの度『新写真論 スマホと顔』にて受賞した学芸賞は「優れた写真評論・写真研究などを発表し、広く一般に上梓して写真界に多大な影響を及ぼした個人または団体」に贈られる賞です。

受賞理由として、以下の通りコメントが寄せられています。

著書『新写真論 スマホと顔』において、撮影された写真だけでなく、スマホ・SNS・AIなど写真の周りで起こりつつある出来事すべてを「写真」の内部で考えようとする論考は、現代における写真とは何かを考える上で示唆に富む。この労作に対して。

『新写真論 スマホと顔』は、電子批評誌『ゲンロンβ』（株式会社ゲンロン）における大山氏の連載「スマホの写真論」をもとに、大幅な加筆と書き下ろし論考を追加し刊行されました。スマートフォンの登場によって大きな変容を迎えた「写真」を、大山氏は「顔」と「指」をキーとして新たに読み解きます。写真を変えるあらゆる話題を横断する圧倒的にスリリングな人間=顔=写真論として好評を博し、2020年3月の刊行以来、写真をめぐる論考のあらたな定番として、ロングセラーとなっています。

今回の受賞を受け、株式会社ゲンロンでは本書の重版を決定。先日、4刷が出来しました。刊行から3年が経過した今、改めて注目を集めている本書をぜひメディアでご紹介ください。

受賞に際して大山顕さんからのコメント

日本写真協会賞・学芸賞、とてもうれしく、光栄に思います。これも読者のみなさん、編集に携わってくださったゲンロンのみなさんのおかげです。ありがとうございます。

出版されたのはコロナ禍直前で、収められた章のうち最初に執筆したものは2017年に書いた原稿です。これらをいま評価頂いたことは、この本が「新」写真論の名に恥じないものであることの証明だと思っています。

出版後、コロナが猛威を振るい、東京オリンピックが開催され、ウクライナへの侵攻がありました（この本では Cholnoyev で撮った写真についても論じました）。ぼくにとっては、いずれも写真を通して考えるべき出来事です。つまり、新写真論は今後もアップデートしていきます。目下考えているのは画像生成AIと写真の関係です。

スマホとSNSによって、写真はすっかり特別なものではなくなりました。みんなが日常的に使うものだからこそ、いま写真を通じて多くのことを考えることができます。この本をきっかけに、多くの人がそうしてくれたらうれしいです。

株式会社ゲンロンでは、本書や本書刊行後の、今日における写真の状況などをめぐって、大山氏への取材を受け付けています。詳細は担当者までご連絡ください。

『新写真論 スマホと顔』書誌情報

【目次】

スマホと顔

- 01 | スクリーンショットとパノラマ写真
- 02 | 自撮りの写真論
- 03 | 幽霊化するカメラ

04 | 写真はなぜ小さいのか

05 | 証明／写真

06 | 自撮りを遺影に

07 | 妖精の写真と影

スクリーンショットと撮影者

08 | 航空写真と風景

09 | あらゆる写真は自撮りだった

10 | 写真の現実味について

11 | カメラを見ながら写真を撮る

12 | 撮影行為を溶かすSNS

13 | 御真影はスキャンだった

写真は誰のものか

14 | 家族写真のゆくえ

15 | 「見る」から「処理」へ

16 | 写真を変えた猫

17 | ドローン兵器とSNS

18 | Googleがあなたの思い出を決める

19 | 写真から「隔たり」がなくなり、人はネットワーク機器になる

20 | 写真は誰のものか

ファサード

21 | 2017年10月1日、ラスベガスにて

22 | 香港スキヤニング

23 | 香港のデモ・顔の欲望とリスク

おわりに

■著者プロフィール

大山頭 おおやま・けん

フォトグラファー／ライター。1972年11月3日生まれ。1998年千葉大学工学部修了。研究テーマは工場構造物のコンバージョン提案。工業地域を遊び場としてきた生い立ちがこの論文に結実。卒業後松下電器株式会社（現Panasonic）に入社。シンクタンク部門に10年間勤めた後、フォトグラファーとして独立。出版、イベント主催などを行っている。

主な著書に『工場萌え』『団地の見究』（共に東京書籍）『ジャンクション』（メディアファクトリー）、『ショッピングモールから考える——ユートピア・バックヤード・未来都市』（東浩紀との共著、幻冬舎新書）『新写真論 スマホと顔』（ゲンロン）。

現在、監修を務めた「モールの想像力 —ショッピングモールはユートピアだ」（8月27日まで）が高島屋史料館 TOKYO にて好評開催中。

Twitter: [@sohsai](https://twitter.com/sohsai) シラス「大山頭の都市を現像する」: <https://shirasu.io/c/portraitofcity>

■書籍刊行後に公開された関連記事

- ・ コロナの肖像／災害の風景——『新写真論』補遺
https://www.genron-alpha.com/gb054_01/
『ゲンロンβ54』より
- ・ ゼレンスキー大統領のオンライン演説に見る、外交手腕の2つのポイントとは。
画面越しでも「自分に向けられている」と思わせる大切さ
<https://chuokoron.jp/politics/122121.html>
『ゲンロン13』所収 「斜めのミラー」より (中央公論.jp)

■書籍データ

発行：2020年3月
判型：四六判・ソフトカバー
ページ数：本体320頁（カラーグラビア8頁）
価格：2,640円（税込）
I S B N：978-4-907188-35-1

一般販売について

全国書店・各ECサイトにて好評販売中です。

版元ドットコム | <https://www.hanmoto.com/bd/isbn/9784907188351>

Amazon | <https://www.amazon.co.jp/dp/4907188358>

※電子書籍も発売中です <https://genron.co.jp/shop/products/detail/266>

本誌ならびに内容に関する取材・お問い合わせは下記までご連絡ください

株式会社ゲンロン

〒141-0031

東京都品川区西五反田2-24-4 WEST HILL2F

TEL：03-6417-9230 FAX：03-6417-9231

E-mail：info@genron.co.jp

担当：野口弘一朗（のぐち・こういちろう）